

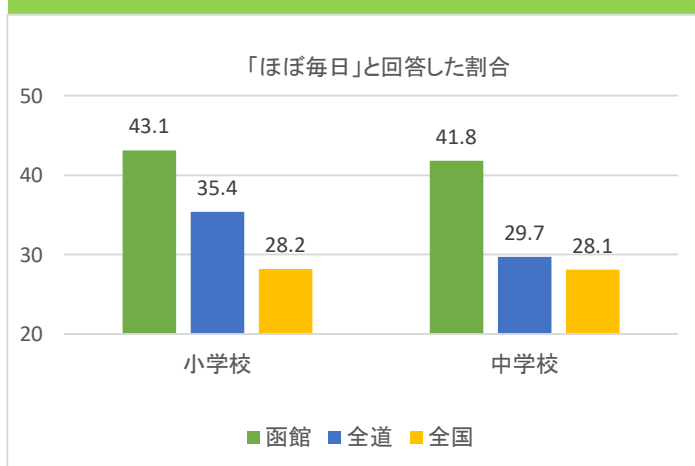
令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

〈函館の子どもの特徴〉

- 授業中に学習用端末を活用する場面が増えている。
- いじめは許されないという意識が高い傾向にある。
- 家庭での学習時間が短く、学習内容を振り返り、次の学習につなげることに課題がある。
- 各教科とも全国や全道との間に大きな差がなくなってきたが、引き続き一層の努力が必要である。

質問紙調査の結果から見える成果

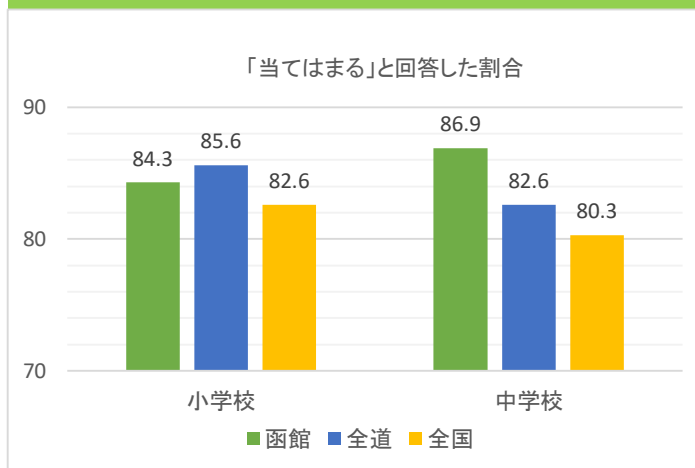
Q 5年生までに（中：1，2年生のときに）
受けた授業で、PC・タブレットなどの
ICT機器をどの程度使用しましたか



「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合が、小学校で43.1ポイント（昨年度から5.7ポイント増）、中学校で41.8ポイント（昨年度から4.3ポイント増）となっており、引き続き増加しており、全国・全道と比較して高い傾向にあります。

学校質問紙調査においても、児童生徒一人一人に配備されたICT機器を、授業でほぼ毎日活用していると回答している学校の割合が高い傾向です。

Q いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が、小学校で84.3ポイント、中学校で86.9ポイントと高い傾向にあります。

学校質問紙において、児童生徒に対して、「特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている」と回答している学校の割合が高い傾向です。

※ グラフについては特徴がわかるようにメモリを設定しています。

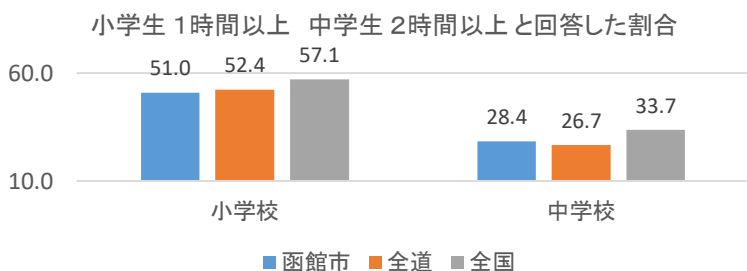
〈考察と今後に向けて〉

各学校が、授業で学習用端末を効果的に活用し、児童生徒一人一人に寄り添った、きめ細かな学習指導をしていることや、いじめはどんな理由があっても許されないことであるという意識をもつ児童生徒が多いことが成果と考えられます。

今後は、児童生徒が家庭での学習に、学習用端末をより一層活用できるよう、効果的な端末の活用実践例等を紹介し、家庭での取組の充実を図るよう働きかけてまいります。また、引き続き「いじめ等の問題を考える集会」の取組等を通じて、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めてまいります。

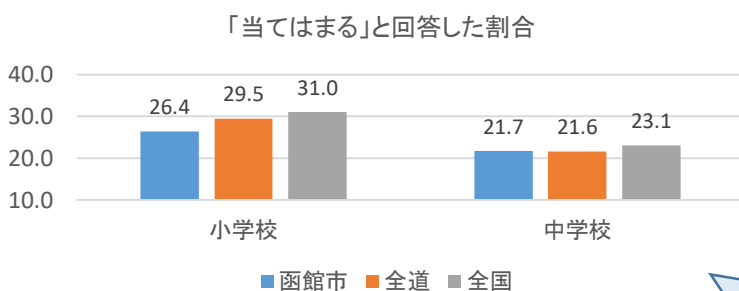
質問紙調査の結果から見える課題

Q 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか



小学校で1時間以上と回答した児童の割合が51.0ポイント(昨年度から8.2ポイント減)、中学校で2時間以上と回答した生徒の割合が28.4ポイント(昨年度から2.0ポイント減)と低い傾向にあります。

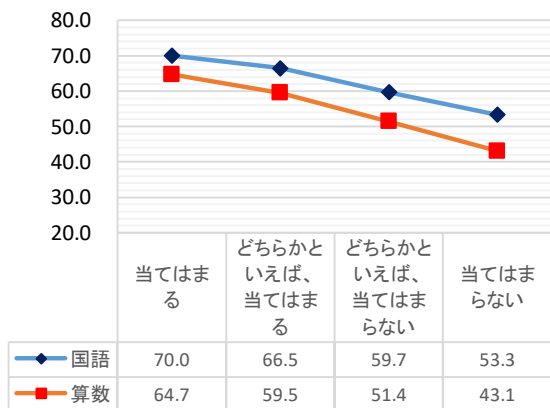
Q 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



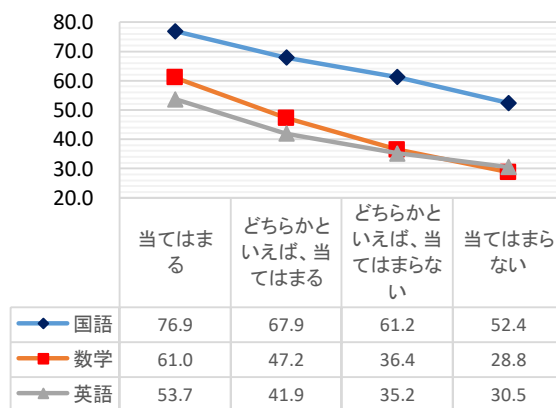
「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が小学校で26.4ポイント、(昨年度から4.9ポイント減)、中学校で21.7ポイント(昨年度から4.3ポイント減)と低い傾向にあります。

Q 「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の回答と平均正答率のクロス集計結果

選択肢別の平均正答率(小学校)



選択肢別の平均正答率(中学校)



児童生徒質問紙の回答と平均正答率の関係では、学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると実感している児童生徒ほど、平均正答率が高くなる傾向が、小学校、中学校の全ての教科で見られます。

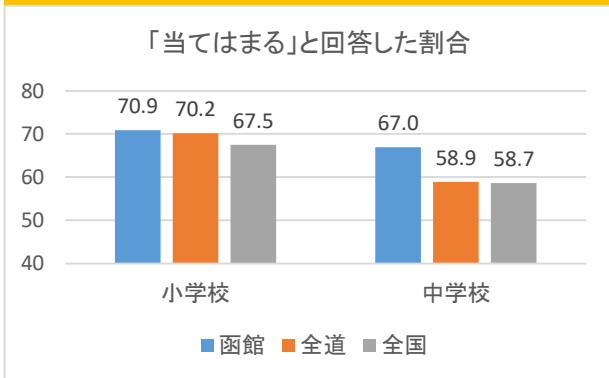
〈考察と今後に向けて〉

学習した内容を児童生徒が自ら見直し、計画を立てて学習を進め、次の学習へつなげることが課題と考えられます。

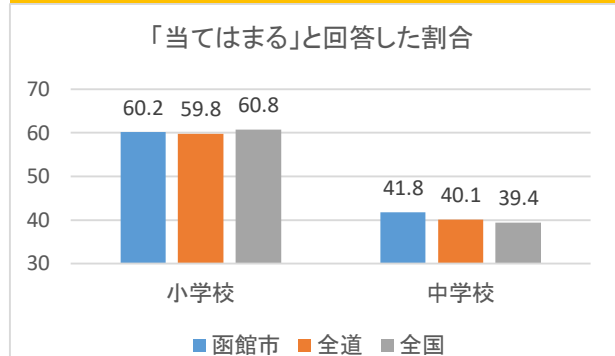
今後は、学習指導において、児童生徒が自ら学習内容を見直し、振り返る場面を充実したり、学習用端末を効果的に活用して、個に応じた思考の保障や、協働した問題解決の場面を設定したりするなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進してまいります。

その他の特徴

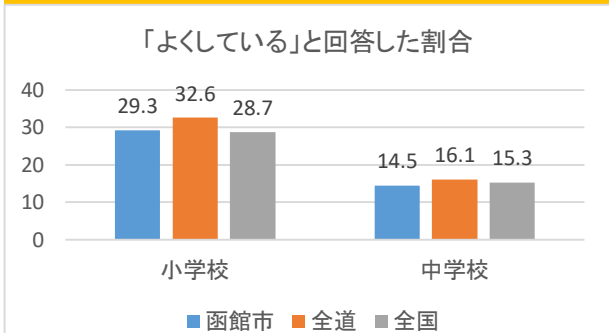
Q 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



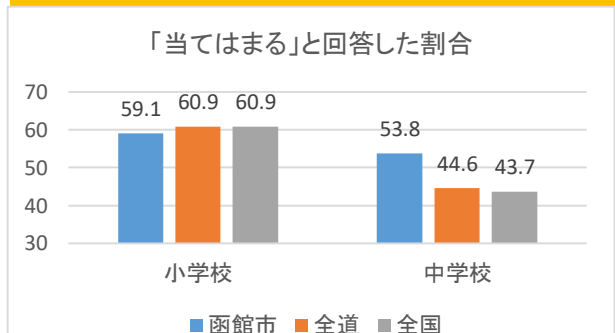
Q 将来の夢や目標を持っていますか



Q 家で自分で計画を立てて勉強していますか



Q 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



平均正答数・平均正答率

〈小学校〉

	国語	算数
函館市	9.1問／14問 65%	9.3問／16問 58%
全国	9.4問／14問 67.2%	10問／16問 62.5%
全道	9.2問／14問 66%	9.8問／16問 61%

〈中学校〉

	国語	数学	英語
函館市	10問／15問 67%	6.9問／15問 46%	7.1問／17問 42%
全国	10.5問／15問 69.8%	7.6問／15問 51%	7.7問／17問 45.6%
全道	10.4問／15問 69%	7.4問／15問 49%	7.5問／17問 44%

※ 函館市、全道の平均正答率については、小数点以下を四捨五入した整数値で結果を示しています。

上段：平均正答数，下段：平均正答率

※ 今後、本市の児童生徒の状況については、HPに追加して掲載してまいります。

※ 本市では、全国や全道の平均正答率と、本市の平均正答率に大きな差がなくなってきていることから、令和3年度から「函館の子どもたちの特徴」を中心に公表しています。